

全国統一防火標語

「消すまでは 心の警報 ONのまま」

4月20日～4月30日

平成26年

春の火災予防運動

チビっ子火の用心広報隊が
出動します！

防火衣や防火はっぴを着たチビっ子消防士たちが、
婦人防火クラブと協力して、火の用心と住宅用火災
警報器の設置等を呼びかけます。



昨年の写真を使用しています

【みその保育園幼年消防クラブ】

○日時 4月28日(月) 10:30～

○場所 ダイエー岩見沢店 (9条西20丁目1-2)



NEWS いわみざわ 119

消防だより 春季号

岩見沢地区消防事務組合 [岩見沢市・月形町] 平成26年4月1日

昨年配備された月形支署に続いて、
北村地区の消防力強化を図るため 岩見沢消防署 北支署 に
「CAFS」^{キャブス} 搭載の 水槽付消防ポンプ自動車
(水槽容量5,500ℓ) が2月13日配備されました。

最新鋭



◇「CAFS」◇

水と泡薬剤を混合した溶液に圧縮した空気を注入し、水を泡に
置き換え放射するシステムで、水の混合割合を変化することで
あらゆる火災形態に対応し、効率的な消火活動が可能です。

平成25年中の火災概況

区分	市町村	岩見沢市	月形町	合計
火災件数		24	4	28
建物	全焼	1	1	2
	半焼	1		1
	部分焼	3	1	4
	ぼや	11		11
建物以外	林野	1		1
	車両	4	1	5
	その他	3	1	4
死傷者	死者	1		1
	負傷者	2		2

☆平成25年の火災件数は28件と組合発足
(昭和47年)以来、最も少ない件数となり
ました。それ以前の最少は平成5年と平成
19年の29件でした。

平成25年中の救急概況

	出動件数	搬送人員
岩見沢市	3,551	3,325
月形町	150	146
その他の市町村	5	3

☆2時間22分に1件の割合で出動

設置して良かった住宅用火災警報器 (平成25年中の奏功事例)

月	発生原因
4月	フライパンの空だき
8月	鍋の空だき
9月	鍋の空だき

☆住宅用火災警報器を設置していたため、
警報音に気付き、火を止めたことにより
火災に至らず、3件の火災が減りました。

裏面もご覧ください

お知らせ

住宅用火災警報器設置状況のアンケート調査を行います!

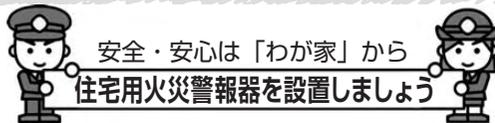
住宅用火災警報器の設置は住宅火災を防ぐ上で、極めて重要であり、実際に住宅火災件数は、住宅用火災警報器の設置が義務化となってから減少を続けています。

また、前面で掲載しているとおり、昨年は岩見沢市・月形町において、設置していたことで早期発見に繋がり、火災には至らず3件の火災が減りました。

しかし、いまだ未設置の世帯に対しては、住宅用火災警報器が効果的である旨の普及啓発を行い、設置を促す必要と、既に設置している世帯に対しては電池切れへの対応等、適切な維持管理を周知する必要があります。そのため管内の設置状況の実態を把握しなければなりません。

そこで、管内の住宅を無作為に抽出し、消防職員が地域関係者(町内会、自治会、消防団等)の協力のもと、一部のお宅へ訪問させていただきます。

調査の時期は5月以降になりますが、住宅火災による更なる被害の軽減を図るため、皆様のご理解とご協力をお願いします。



安全・安心は「わが家」から
住宅用火災警報器を設置しましょう

消防Q&A

～皆様からの質問に私たち(編集委員)がお答えします～

Q. 救急車がサイレンを鳴らしているのに、ゆっくり走っているのはどうして?

A. それは患者さんを乗せているからです。患者さんに負担をかけないように、容態に合わせた搬送をするために、周りの車よりも遅くなってしまう場合があります。

Q. 消防車がサイレンを鳴らさずに街中を走ったり止まったりしてるけど、何をしているの?

A. 消火栓などの水利の点検や除雪、地理や道路状況の把握、運転訓練や広報活動などを行っています。

Q. 火事を消すためには、どのくらいの水が必要なの?

A. 火災の規模によって様々ですが、バケツ一杯程度の水で消火できることもあれば、何千リットルもの水を積んだ消防車が、たくさん集まっても、すぐに消火できないこともあります。火災は大きくなる前の「初期消火」が大事ということです。

編集委員 田仲



東日本大震災から3年...
もしもの時の準備をしていますか?

地震や台風、竜巻、豪雨、洪水、豪雪などの自然災害は突然起きます。

万一の時に備えて皆さんは、非常時の準備をしていますか。

今回は、災害時に役立つ用品の一部を紹介したいと思います。

- ・飲料水 (1日1人2~3リットル)
- ・非常食
- ・軍手
- ・ティッシュ
- ・常備薬
- ・トイレットペーパー
- ・サランラップ
- ・下着
- ・ライター
- ・現金や重要書類のコピー
- ・笛 など



災害発生から最初の3日間は、生活に必要な物資を入手することは困難であるため、これらの物を普段から非常用持ち出しバッグなどに入れて、家の玄関や車の中など持ち出しやすい場所に、準備し用意しておく、災害時にはとても役立ちます。

また、緊急時の家族の集合場所、避難場所、連絡方法など日頃から家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

編集委員 山下



平成26年1月から2月末までの出動

救急出動は

665 件

昨年同期は

740 件



救助出動は

17 件

昨年同期は

18 件



火災件数は

4 件

昨年同期は

9 件



岩見沢消防署

検索

ホームページも
適宜更新しています。

編集・発行 | 消防本部 (編集委員) 電話22-4301